

第93期 報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日

証券コード 6455



TOP MESSAGE ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちモリタグループは、1907年に創業し、日本初のガソリン・エンジン付き消防ポンプを完成させて以来、消防技術の進化の道を切り拓き、火災や災害から人びとの生命、財産を守り続けてまいりました。現在、当社が守る対象は、リサイクル施設や環境車両の開発など、地球の自然環境にも拡大しております。

「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で
人と地球のいのちを守る

私たちは自らのパーパス（社会における存在理由）を、このように定義しています。

変化が激しく、また不確実性の高い時代だからこそ、私たちの存在理由や私たちが社会に提供できる価値を明確にし、変革への情熱を絶やさず、人の力を結集することが、より一層重要であると考えております。

先進の技術力で世界に変わらない「安心」をお届けするため、私たち自身が生まれ変わり、持続可能な未来の創造に挑戦し続けてまいりますので、今後ともモリタグループに変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 加藤 雅義

第93期の概況

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
116,596 百万円	15,456 百万円	15,045 百万円	9,456 百万円
前期比 4.3%増 ↑	前期比 12.5%増 ↑	前期比 9.5%増 ↑	前期比 0.2%減 ↓

当連結会計年度におけるわが国経済は、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりや、米国政策の影響、為替相場の動向、物価高や金利上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、『「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る』というパーパスのもと、サステナビリティ経営を推進するとともに、中期経営計画「Morita Reborn 2025」の最終年度として企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度におきまして、経営数値目標に掲げております、「営業利益率12%」、「DOE(株主資本配当率)2.5%以上を

目安]、並びに「営業利益の過去最高の更新」を達成いたしました。

当連結会計年度の業績につきましては、受注高は前連結会計年度比1,209百万円減少し、104,379百万円(1.1%減)、売上高は前連結会計年度比4,852百万円増加し、116,596百万円(4.3%増)となりました。損益につきましては、営業利益は前連結会計年度比1,723百万円増加し、15,456百万円(12.5%増)、経常利益は前連結会計年度比1,301百万円増加し、15,045百万円(9.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比15百万円減少し、9,456百万円(0.2%減)となりました。売上高、営業利益及び経常利益において過去最高を更新いたしました。

世界最大級の消防防災展「INTERSCHUTZ 2026」へ新型消防車両を出展



モリタは、2026年6月1日(月)～6月6日(土)にドイツ・ハノーバーにて5年に一度開催される世界最大級の消防防災展「INTERSCHUTZ 2026」に、消防現場の課題解決と環境負荷低減を両立する次世代ソリューションとして、先端屈折式はしご付消防自動車「MLMA5-32」及びEVポンプユニットを発表し、展示いたしました。

(写真)モリタグループとしてフィンランドの子会社BRONTO SKYLIFT社との共同出展風景
手前がモリタ製先端屈折式はしご付消防自動車「MLMA5-32」

●先端屈折式はしご付消防自動車「MLMA5-32」



欧州・中南米・北アフリカ地域に14以上の支店と4つの工場を有するスペインの特殊車両メーカーであるITURRI社との戦略的パートナーシップにより誕生した、EU域内における統一規格である、EN規格適合の最新型の先端屈折式はしご付消防自動車です。

はしご先端の屈折機能により、複雑な都市部環境でも効率的な消火・救助が可能で、高い許容積載荷重を備えたバスケットは高度な制御システムにより、厳しい環境下でも高い安全性・機能性・操作性を実現します。

モリタのはしご技術とITURRI社の特殊車両における設計・製造技術を融合したモデルで、欧州・中南米・北アフリカ市場における、はしご付消防車事業の展開を目指します。

●EVポンプユニット



EV規格「EN1028」に準拠した大流量・高効率を両立したEVポンプユニットです。独自開発のePTOシステムにより、シャシ(車台)のPTO(ポンプ駆動システム)を介さずにポンプを稼働することができ、あらゆるBEV(電気自動車)に柔軟に対応します。

- (1)大流量・高効率 従来製品と比べポンプ効率が約15%向上し、限られた動力を最大限に活用できます。
- (2)小型・軽量 モーターと水ポンプを一体化することで、当社従来製品と比べ体積を約14%、重量を約19%削減し、車両への架装性をさらに向上させました。

全国各地で相次ぐ林野火災への対応支援について

モリタは林野火災被災地への支援として、海水でも高い発泡性能を発揮する、冷却・再燃防止効果に優れたPFAS(有機フッ素化合物)非含有の環境に配慮した泡消火薬剤「マルチA(マルチエース)」の寄贈や、被災地に出動したモリタ製消防車両の無償点検を行っています。

2025年3月に岩手県大船渡地区消防組合消防本部及び愛媛県今治市消防本部に薬剤の寄贈と無償点検を、2026年1月には山梨県大月市消防本部及び同上野原市消防本部に薬剤の寄贈を行いました。このうち、消火活動に貢献した企業として、同年3月に上野原市から表彰いただきました。

当社は、「『安心』を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る」というパーパスのもと、災害対応支援を通じた社会貢献も行っています。



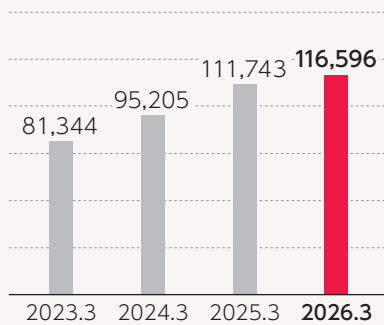
山梨県大月市消防本部への寄贈



財務ハイライト(連結)

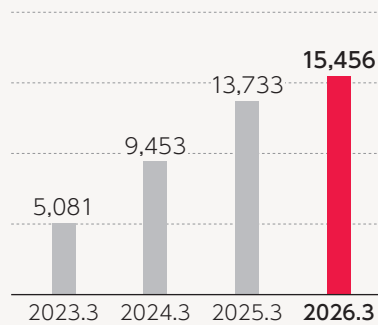
売上高

単位：百万円



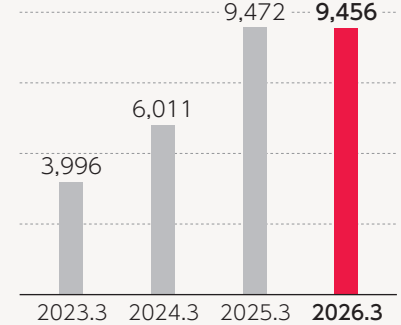
営業利益

単位：百万円



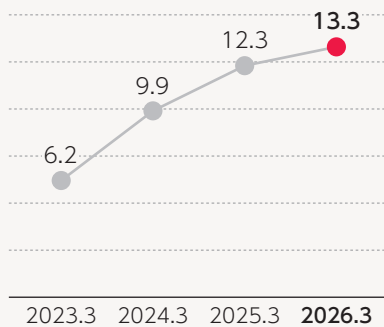
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



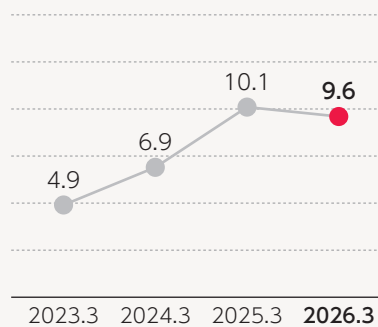
売上高営業利益率

単位：%



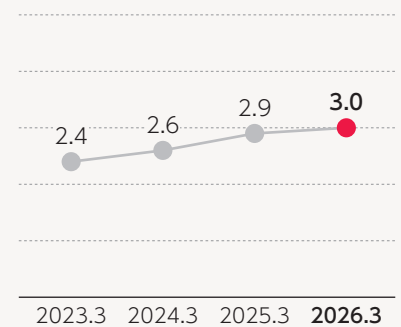
自己資本当期純利益率(ROE)

単位：%



株主資本配当率(DOE)

単位：%



セグメント別概況

防災事業

売上高

24,959百万円

前期比

6.2%減

セグメント利益

5,148百万円

前期比

2.7%増

前期にあった消火設備の大型案件の売上が減少し、減収増益。

消防車両事業

売上高

71,689百万円

前期比

7.9%増

セグメント利益

8,167百万円

前期比

19.5%増

国内の売上が順調に推移したことから、増収増益。

環境車両事業

売上高

13,469百万円

前期比

9.1%増

セグメント利益

1,254百万円

前期比

22.1%増

製品の売上が順調に推移し、増収増益。

産業機械事業

売上高

6,476百万円

前期比

1.8%増

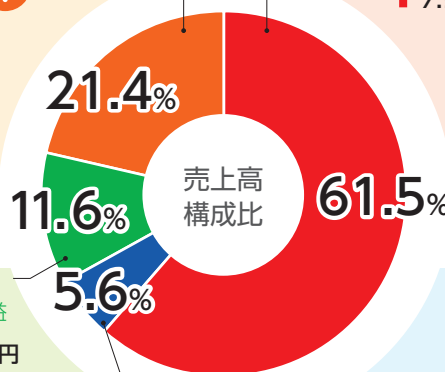
セグメント利益

896百万円

前期比

4.9%増

製品及び部品・メンテナンスの売上が堅調に推移し、増収増益。



売上高
構成比

61.5%

21.4%

11.6%

5.6%



会社・株式情報

商号 株式会社モリタホールディングス
創業 1907(明治40)年4月23日
設立 1932(昭和7)年7月23日
資本金 47億4,612万円
大阪本社 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社 東京都港区芝5丁目36番7号
事業内容 グループ各社の事業活動の支配・管理
及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役	加藤 雅義	社長執行役員	加藤 雅義
代表取締役	福西 宏之	副社長執行役員	福西 宏之
取締役	磯田 光男	常務執行役員	西田 律夫
取締役	川西 孝雄	執行役員	西風 裕之
取締役	金子 麻理	執行役員	池村 仁一
取締役	太田 将	執行役員	明田 京子
常勤監査役	平岡 理弘		
監査役	西村 捷三		
監査役	矢野 奈保子		
監査役	川村 健		

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法 電子公告とし、当社のホームページに掲載する。
<https://www.morita119.com/ir/stock/kohkoku.html>
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>
上場証券取引所 東京証券取引所
1単元の株式数 100株

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の市場取引は、100株単位(1単元)となっております。
単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる
買取・買増制度を設けております。

詳しくは、下記URLまたはQRコードからご確認ください。
<https://www.morita119.com/ir/stock/memo.html>
(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



主要グループ会社

株式会社モリタ 兵庫県三田市テクノパーク1番地の5
はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防
車両並びに特殊車両の開発・製造・販売

モリタ宮田工業株式会社 東京都江東区有明3丁目5番7号
消火器を中心とした消火関連機器、消火
装置、その他各種防災機器・設備の開
発・製造・販売

株式会社モリタ環境テック 千葉県船橋市小野田町1530番地
リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理
施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の
開発・製造・販売

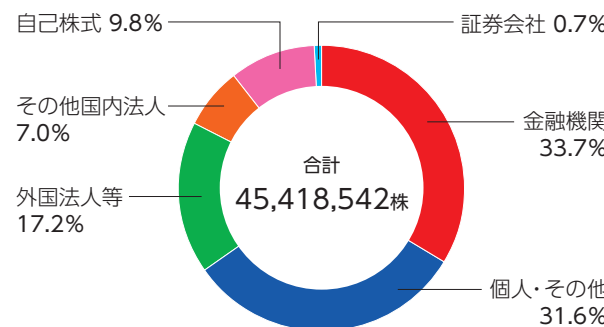
株式会社モリタエコノス 兵庫県三田市テクノパーク28番地
衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・
製造・販売

株式会社モリタテクノス 兵庫県三田市テクノパーク32番地
消防車両・救助用資機材等のアフターサー
ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器
具・情報処理機械器具の開発・製造・販売

BRONTO SKYLIFT OY AB フィンランド共和国 タンペレ市
屈折はしご付消防車及び高所作業車の開
発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2026年3月31日現在



大株主(上位10名)

2026年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,332
モリタ取引先持株会	2,379
第一生命保険株式会社	1,805
株式会社みずほ銀行	1,774
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,759
エア・ウォーター株式会社	1,730
株式会社三菱UFJ銀行	1,498
三井住友信託銀行株式会社	1,117
株式会社三井住友銀行	1,007
モリタ従業員持株会	944

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式4,446千株を保有しております。

人と地球のいのちを守る

MORITA
株式会社モリタホールディングス

[大阪本社]
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907

[東京本社]
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号
☎03-6400-3480

<https://www.morita119.com>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。